

**教科の目標**

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

**【体育分野の目標】**

- 1 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、知識や技能を高め、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。
- 2 運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、心身の調和的発達を図る。
- 3 運動における競争や協同の経験を通して公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、参画するなどの意欲などの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。

**【保健分野の目標】**

個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

**評価の観点・方法**

**評価の観点**

- 1 運動や健康・安全についての知識を身に付けている。  
運動に必要な技能や体力を身に付けている。  
【知識・技能】
- 2 運動の課題解決を目指して、考え工夫し伝えている。  
【思考・判断・表現】
- 3 欠席や見学がなく、安全に、意欲的に学習しようとしている。  
【主体的に学習に取り組む態度】

**評価の方法**

- 欠席や見学の状況
- 授業へ取り組む姿勢や態度（授業態度）
  - ・服装
  - ・意欲的な取り組み
  - ・学習ノートの記入と提出
  - ・リーダーシップ
  - ・協力性等
- 技能や体力、知識
  - ・新体力テスト
  - ・各種目の技能テスト、練習の内容
  - ・知識テストなどを中心に、総合的に評価する

	学習内容	学習のねらい
一 学 期	○体育理論 ・文化としてのスポーツ	・文化としてのスポーツの意義を理解できるようにする。
	○体づくり運動 ・集団行動 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。
	○陸上Ⅰ ・短距離走、リレー	・短距離走、リレーでは合理的なフォームを身に付け、個人やリレーチームのタイム短縮ができる。
	○器械運動 ・マット運動 ・跳び箱運動	・マット運動では回転系や巧技系、跳び箱運動では回転系や切り返し系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと、それらを構成し、演技できるようにする。
	○水泳 ・クロール、平泳ぎ (背泳ぎ、バタフライ)	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、効率的に泳ぐことができるようにする。
二 学 期	○球技Ⅱ ・ソフトボール	・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防を展開できるようにする。
	○陸上Ⅱ ・長距離走	・自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したりできるようにする。
	○武道 ・柔道	・基本的な動作・礼法を身に付ける。 ・相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技、得意技、連絡技を用いて、投げたり、抑えたりするなどの攻防を展開できるようにする。
	○球技Ⅱ ・バドミントン	・ネット型では、安定したボールや用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。
三 学 期	○球技Ⅲ ・ハンドボール	・ゴール型では、安定したボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開できるようにする。
	○ダンス ・現代的なリズム	・リズムの特徴をとらえ、変化とまとまりをつけて、リズムに乗って全身で踊ることができるようにする。
全 学 期	○保健 ・健康と環境 ・健康な生活と病気の予防	・健康な生活と病気の予防について理解できるようにする。

※天候や授業の進度によって、多少の変更があります。

- 学校の実態に応じた学習領域や自己の興味・関心に適した学習種目の選択
- 課題解決学習の展開
- ペア、グループ学習の活用
- 団対抗縦割り体育祭や体育的行事等との関連